

事業所名

児童発達支援RePort東北桜教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7

年

2

月

15

日

法人（事業所）理念		安心と笑顔が広がるみんなの居場所								
支援方針		お子様一人ひとりの成長段階や個性に合わせて、集団生活で必要な生活スキルや社会性を育むことを大切にしています。昼食をはさむ長時間預かりを通じて、日常生活のさまざまなスキルを身につける機会を提供します。コミュニケーションに課題を抱えるお子様には、午前中の活動を通じて無理なく集団に参加できる環境を整えています。また、幼稚園や保育園と併用するお子様向けには、降園後に通いやすい時間帯でプログラムを実施し、それぞれの成長を支援します。お子様が自信をもって社会へ踏み出せるよう、温かく丁寧な支援を行っています。								
営業時間		14:00～15:30 除く	9時	30分	16時	30分	送迎実施の有無	なし		
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	1. 健康状態の維持・改善：来室時の体調確認・検温を行い、アセスメント時に保護者へ体調不良の聞き取りを実施。 2. 生活習慣・生活リズムの形成：食事や排泄への興味を促し、口腔機能や微細運動を高める遊びやクッキングを実施。 3. 基本的な生活スキルの獲得：専門職が食事支援等を行い、食具・身支度練習や挨拶の習慣化、避難訓練を実施。								
	運動・感覚	1. 協応性の向上：身体や視覚の協応性を高める運動やサーキットトレーニングを実施。 2. 感覚統合の支援：前庭覚や触覚を活用し、重力不安や感覚過敏を軽減するためのダンスや感触遊び（安全な食材使用）を行う。 3. 社会性・コミュニケーションの促進：遊びを通じてルールの理解やコミュニケーション力を育む音楽・リズム遊びを取り入れる。								
	認知・行動	1. 認知的理解の促進：絵本や製作、クッキングを通じて季節を感じることでできる活動を実施。 2. ルール理解と時間管理の支援：ルール理解を深めるため、タイムタイマーを取り入れて時間の感覚を育む。								
	言語 コミュニケーション	1. コミュニケーション力の向上：朝の会での呼名や挨拶返事練習を通じて、言葉を使う機会を提供。 2. 言葉の理解と表現の促進：生活の歌やスケジュール確認、絵本の読み聞かせを通じて、言葉への理解を深める。 3. 模倣力・リズム感の向上：模倣動作練習や手遊び、リトミックを通じて、言葉の発達をサポート。 4. 言葉に触れる機会の増加：遊びや様々な活動を通じて、豊富な言葉に触れる。								
	人間関係 社会性	1. 順番やルールの理解：おもちゃの片付けや活動の中で順番を守ることを理解し、実践する。 2. 生活マナーの習得：食育時等に食べる際のマナーを学び、日常生活に活かす。 3. 社会性の育成：集団での活動を通じて、他者との関わり方や協力の大切さを学ぶ。								
家族支援		1. アタッチメント（愛着）の安定 毎日の児童の様子を記録し、家族との信頼関係を深めるためのコミュニケーションを支援。 2. 家族からの相談に対する助言 家族からの相談や悩みに対して、適切な助言を提供し、問題解決に向けたサポートを行う。 3. 障害の特性に配慮した家庭環境の整備 障害の特性に配慮し、家庭環境の整備に関するアドバイスや支援を行う。			移行支援		1. 放課後児童クラブ等への移行支援：児童発達支援から放課後児童クラブへのスムーズな移行をサポートし、学齢期に向けた適応を促進。 2. ライフステージにおける移行準備：小学校へ進学する準備として、社会性や学習習慣の形成を進め、将来的なライフステージの切り替えに向けた準備を早期に行う。 3. 併行利用先との連携：児童発達支援と放課後児童クラブ等を併行利用する場合、併行利用先との情報共有を行い、個別の支援計画を整備。 4. 地域との関わり：地域の他の子どもたちとのつながりを支援し、地域での仲間づくりを促進。 5. 情報共有と支援体制：担当者会議や地域の支援機関と連携し、学校や家庭と情報を共有しながら、適切な支援体制を構築。			
地域支援・地域連携		1. 地域の関係者・関係機関との連携：通所する児童に関わる地域の関係者や関係機関と連携し、支援を提供。 2. 地域資源の活用：地域内での支援ネットワークを活用し、児童とその家族の支援に役立てる。 3. 情報共有と連携強化：地域の関係者と定期的に情報を共有し、支援体制を強化。			職員の質の向上		1. スキルアップ研修：スタッフの専門的なスキルを向上させるための研修を定期的実施。 2. 法定研修：虐待防止や身体拘束に関する法定研修を公表し、事業所の取り組みを共有。 3. 防災研修：施設の安全を確保するため、定期的な防災研修を行い、スタッフの対応力を強化。 4. ケース検討会：スタッフ間でのケース検討会を実施し、支援の質を向上させる。 5. 外部研修・他機関連携：外部研修や他機関連携による研修に参加し法人理念を実現するための取り組みを強化。			
主な行事等		1. 季節ごとの特別な行事：春夏秋冬、それぞれの季節に合わせたイベントを開催し、自然の変化を感じながら楽しいひとときを過ごします。 2. 戸外散歩での冒険：新鮮な空気を感じながら、地域を探索する散歩を通じて、心と体のリフレッシュを図ります。 3. 季節の製作活動：季節ごとの材料を使ったクリエイティブな製作活動で、手を動かしながら季節の色や温もりを感じ取ります。 4. 親子イベントで絆を深める：親子で参加できる楽しいイベントを通じて、コミュニケーションや絆を深め、特別な時間を共に過ごします。								

事業所名

放課後等デイサービスRePort東北桜教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7

年

2

月

15

日

法人（事業所）理念		安心と笑顔が広がるみんなの居場所								
支援方針		お子様一人ひとりの成長段階や個性に寄り添いながら、集団生活の中で必要な生活スキルや社会性を育むことを大切にしています。放課後の時間を活用し、お子様が安心して過ごせる環境を提供します。コミュニケーションが苦手なお子様には、無理なく集団に慣れる機会を設け、学校生活での自信につなげます。また、それぞれのペースに合わせた支援を行い、日常生活のスキル向上をサポートします。お子様が自信を持って社会に踏み出せるよう、温かく丁寧な支援していきます。								
営業時間		平日	14時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	なし		
		学校休業日	10時	0分	16時	0分				
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	1. 体調管理と生活リズムの支援: 毎日の来所時に体調チェックや検温を実施し、生活リズムの確立を支援する。 2. 食事や排泄の自立支援: 食事やトイレのタイミングを自分で意識できるよう支援し、生活マナーの習慣化を促進する。 3. 健康的な遊び: 健康的な体作りを促進するため、屋外での遊びや運動遊具を使った活動を行う。								
	運動・感覚	1. 体を使った協応性を高める遊び: サーキットトレーニングやボールを使った運動遊びを通じて、体の協応性や運動能力を高める。 2. 感覚遊び: 色々な触感を体験できる感覚遊び（安全な食材や道具を使用）を実施し、触覚や前庭覚を刺激する。 3. リズム遊びやダンス: 音楽やリズムに合わせたダンスや手足の動きを使った遊びを通じて、運動能力やリズム感を育む。								
	認知・行動	1. 時間の理解を深める: タイムタイマーを使い、時間の感覚を養いながら、順番や計画を立てる練習を行う。 2. 課題解決能力の促進: ゲームやパズルを使って問題解決の力を養い、認知的な柔軟性を育む。 3. ルールやマナーの理解: 遊びの中でルールを守ることや、協力して活動する重要性を学ぶ。								
	言語 コミュニケーション	1. 絵本やストーリーテリング: 絵本の読み聞かせを通じて、語彙力やストーリーの理解を促進する。 2. コミュニケーションゲーム: 会話を楽しむゲームやロールプレイを取り入れ、言葉でのやりとりを活発にする。 3. 挨拶や自己紹介の練習: 挨拶や自己紹介を練習し、基本的な社会的コミュニケーション能力を育む。								
	人間関係 社会性	1. 集団遊びを通じた協調性: グループ活動やチームゲームを通じて、協力することや順番を待つことの大切さを学ぶ。 2. 対話と自己表現: 他の児童と積極的に話す機会を作り、自己表現や相手を尊重する態度を育てる。 3. 役割分担やルールを守る支援: 役割分担のある遊びや活動を通じて、責任感を持ち、社会のルールを守る意識を育む。								
家族支援		1. アタッチメント（愛着）の安定: 毎日の児童の様子を記録し、家族との信頼関係を深めるためのコミュニケーションを支援。 2. 家族からの相談に対する助言: 家族からの相談や悩みに対して、適切な助言を提供し、問題解決に向けたサポートを行う。 3. 障害の特性に配慮した家庭環境の整備: 障害の特性に配慮し、家庭環境の整備に関するアドバイスや支援を行う。			移行支援		1. 放課後等デイサービス向けの移行支援・地域連携: 放課後児童クラブ等への移行支援: 放課後等デイサービスから放課後児童クラブ等への移行を支援し、児童が新しい環境に適応できるようサポート。 2. ライフステージにおける移行準備: 次のライフステージに向けた準備を計画的に進め、社会適応力や自立心を育てる支援を行う。 3. 併行利用先との連携: 放課後等デイサービスと放課後児童クラブ等、または地域の支援施設と情報を共有し、児童に一貫した支援を提供。 4. 地域との関わり: 同年代の子どもたちとの交流を促し、地域の活動に参加できるように支援して、仲間づくりを後押し。 5. 情報共有と支援体制: 担当者会議や学校、地域の支援機関と情報共有を行い、放課後等デイサービス利用者への支援が一貫して行えるよう支援体制を確立。			
地域支援・地域連携		1. 地域の関係者・関係機関との連携: 通所する児童に関わる地域の関係者や関係機関と連携し、支援を提供。 2. 地域資源の活用: 地域内での支援ネットワークを活用し、児童とその家族の支援に役立てる。 3. 情報共有と連携強化: 地域の関係者と定期的に情報を共有し、支援体制を強化。			職員の質の向上		1. スキルアップ研修: スタッフの専門的なスキルを向上させるための研修を定期的実施。 2. 法定研修: 虐待防止や身体拘束に関する法定研修を公表し、事業所の取り組みを共有。 3. 防災研修: 施設の安全を確保するため、定期的な防災研修を行い、スタッフの対応力を強化。 4. ケース検討会: スタッフ間でのケース検討会を実施し、支援の質を向上させる。 5. 外部研修・他機関連携: 外部研修や他機関連携による研修に参加し法人理念を実現するための取り組みを強化。			
主な行事等		1. 季節ごとの特別な行事: 春夏秋冬、それぞれの季節に合わせたイベントを開催し、自然の変化を感じながら楽しいひとときを過ごします。 2. 戸外散歩での冒険: 新鮮な空気を感じながら、地域を探索する散歩を通じて、心と体のリフレッシュを図ります。 3. 季節の製作活動: 季節ごとの材料を使ったクリエイティブな製作活動で、手を動かしながら季節の色や温もりを感じ取ります。								